年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年　4 月 8 日
● 事　業　名　：　犯罪と犯した依存症者の支援拠点づくり
● 資金分配団体　：　更生保護法人日本更生保護協会
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人ジャパンマック
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
支援をうけた罪を犯した依存症者が、自分の依存症に気づき、回復支援の存在を知る。 支援を受けた罪を犯した依存症者が、自分から希望して回復支援につながる状態になる。	①　顕在化用漫画冊子の原稿作成状況 ②　紹介・相談を受けた依存症の人の人数	①　漫画冊子を一通り完成させ、スタッフや専門家の意見を取り入れ修正していく。 ②　72 人（各年度 24 人）	①　2023 年 3 月 ②　2023 年 1 月	①　顕在化用漫画冊子を配布していた各関係機関からのアンケート回収が終わり、集約作業を行った。 　概ね好評の声をいただいた（「自分はもしかしたら依存症かもしれないと気づかされた」「リアル。まるで自分のことを描かれている気が	1

				した」等）が、他方で表紙のイラストをもう少し明るいイメージにした方がいいのではないか、といった声もあった。修正に向けて検討・準備中。 ② 2021 年度下半期は 44 名の新規相談を受ける。上半期に続けて想定数をかなり上回る件数（電話のみの相談は含めず）であった。	
支援を受けた罪を犯した依存症者の家族が、依存症の家族会や地域の支援につながった状態になる。	① 周知用のパンフレットの送付数、送付ヵ所、その他周知状況 ② 触法依存症者の家族で、相談・支援をした人数	① 家族向けの内容も含んだ周知用パンフレットを完成させ、関係機関約 50 ヶ所に送付（合計 500 枚印刷） ② 36 家族（各年度 12 家族）		① 2020 年末に完成したパンフレットを、関係機関及び当事者・ご家族に配布。 ② 2022 年 3 月末現在で想定を上回る 45 家族からの相談を受けている（電話相談のみの方を除く。2021 年度 28 家族、2022 年度 17 家族）。	1

警察関係者や司法関係者等を含む関係機関の職員向けセミナーを開催する。また、警察関係者や司法関係者等が、依存症回復支援を行っている団体のネットワーク（検討委員会）に参画し、罪を犯した依存症者の存在とその問題について知る機会ができる。	①　関係者等を対象としたセミナーの開催回数。 ②　司法関係者等を含む地域の関係機関・団体による検討委員会の開催回数。 ③　セミナーや検討委員会に加入する関係機関・団体数及びその構成	①　3 回（各年度一回以上の開催） ②　6 回（各年度 2 回以上の開催） ③　検討委員会の参加機関･団体の数：20 団体（司法・警察関係の団体を 3 団体以上）	①②③ 2023 年 1 月	①　2 回（精神科医師をお招きして関係機関職員向け研修会昨年度 1 回、今年度 1 回）。 ②　検討委員会を昨年度 2 回、今年度 2 回開催。2022 年 2 月開催の検討委員会では、福岡市精神保健福祉センターと合同開催という形で実施。直前にコロナ罹患者が急増したことにより急遽会場とオンラインとでハイブリッド開催に切り替えた。 ③　参加者は 23 団体（うち、司法・警察関係の団体は 6 団体）、40 名。前回より 8 団体増加。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
矯正施設への面会、差し入れ、出所後のお迎え、その後の相談といった矯正施設からの出口支援を継続。 週に一度ケース会議を開き、月に一度外部の精神科医師によるスーパーバイズを受けている。 相談援助、ケースワーク、社会資源（医療、福祉、カウンセリング等）への橋渡し、家族へのフォロー、回復支援プログラムの実施等を継続。 他方で、医療機関や精神保健福祉センター、更生保護関係機関等と連携を図り、研修会や検討委員会の開催、関係機関に対する事業紹介なども行った。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
下半期の検討委員会は、福岡市精神保健福祉センターと協議して会場での開催を計画していたところ、予定日の少し前から福岡市内におけるコロナ罹患者数が増大し始めたことを受け、急遽会場とオンラインのハイブリッド開催に切り替えた。 エールでのプログラムでは、密回避や換気に留意し、グループを分け、それまで提供していた飲料や茶菓を控えた。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・依存症者回復支援センター「エール」　HP：https://yell-fukuoka.jp/jmac 2.広報制作物等 ・依存症者回復支援センター「エール」チラシ（当事者、家族向け）をそれぞれ５００部作成・配布 ・「依存症と犯罪」漫画冊子を４０００部作成・配布 3.報告書等 ・福岡保護観察所にて、エールの事業紹介を行う（R3.11.26） ・中国地方更生保護委員会にて、エールの事業紹介を行う（R3.12.16） ・九州地方更生保護委員会にて、エールの事業紹介を行う（R3.12.17） ・中国地方更生保護委員会にて、エールの事業紹介を行う（R4.2.22） 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・エール主催で、精神科医師をお招きして研修会を行う（R3.10.4）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☐一部未公開　☑未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：法人ホームページが整備中であることで、未だ公開に至っていない。年内に公開したいと考えている。
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：該当がなかったため。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

なし